



第58号

発行 世田谷区町会総連合会

世田谷区若林4-31-9ポライト第2ビル202

☎・FAX 5481-3456

発行人 会長 三羽和彦

編集 情報誌編集委員会

編集委員長 堀江義之

あけましておめでとうございます

世田谷区町会総連合会 会長 三羽和彦



会員の皆様、おだやかな新年をお迎えのこととお喜び申し上げます。

世田谷区町会総連合会の事業につきましては、日頃より格別のご高配を賜り、誠にありがとうございます。

昨年は、新型コロナウイルス感染症の感染症法上の位置付けが5類感染症へと見直されたことで、各町会・自治会においても多くの催しが再開され、コロナ禍以前の賑わいが戻ったとの声を耳にしております。

ようやくひとつの試練を乗り越えた感がございますが、まだまだ油断をなさらず、本年も日々お過ごしいただけたらと存じます。

さて、昨年は関東大震災から100年目を迎えました。10万人以上の死者・行方不明者を出した、近代日本の首都圏における未曾有の災害です。

また、元日には能登半島を中心とした大きな地震が発生し、甚大な被害を目の当たりにしました。

災害時には住民同士の助け合いが不可欠です。阪神・淡路大震災の際も、救助された人の約8割が、家族や近隣の人に助けられたと言われています。

近い将来、発生が懸念されている自然災害に備え、これまで以上の、住民同士の強い繋がりが必要と痛感する次第です。

年頭において、今一度、地区や地域で防災について考え、災害に備える機会にしたいという思いを強くいたしました。

今年も当総連合会は、会員相互で助け合い、「知合い・ふれあい・支えあい」の理念のもとに、安全で安心な住みよい世田谷を目指して参ります。

結びにこの一年の皆様のご健康をお祈り申し上げ、新年の挨拶とさせていただきます。

新年挨拶

世田谷区長 保坂展人



旧年中は区政の推進にあたり、多大なるご尽力をいただきまして、誠にありがとうございました。

1月1日の令和6年能登半島地震で亡くなられた方々のご冥福をお祈り申し上げますとともに、そのご家族や被災された方々に心からのお悔やみとお見舞いを申し上げます。区としても、今後支援体制を継続してまいります。

町会・自治会の皆様におかれましては、約3年に及ぶコロナ禍においても、地域交流、防災、交通安全、環境美化などの様々な活動で地域を支え続けていただき、深く敬意を表します。感染症法上の位置付けが5類に移行して、様々な地域活動が再開されていることと思えます。まちづくりの中心的な役割を果たす皆様の活動は、欠かすことのできない世田谷区の地域コミュニティの基盤です。これからもどうぞよろしく願います。

関東大震災から100周年を迎えた令和5年、区は国士舘大学との共催により「せたがや防災イベント」を開催し、町会・自治会の皆様や世田谷消防署、その他関係機関の協力により、訓練や各種催しを行いました。

「在宅避難への備え」など区民一人ひとりの防災意識を高め、それぞれの立場で、また、それぞれの地域や

地区で防災について考えるよい機会となりました。引き続き地域防災力の向上を図ってまいります。

さて、区は、令和4年10月に地域行政推進条例を制定し、地域行政推進計画をスタートさせました。「自治体のかたち」の土台となる地域行政制度を発展させていくために、今後の区政を方向づける重要な時期です。多くの区民の皆さんの意見を聞き、住民自治の足場を固めていくために開催した車座集会では、区内28か所で延べ661人の方にご参加いただき、日頃感じている課題など様々なご意見をいただきました。

いただいた声を生かし、区政運営の基盤である地域行政制度の改革を進めながら、もっとも身近な区役所であるまちづくりセンター、総合支所を核に、コミュニティづくりをはじめ、まちづくりの推進、地域福祉の充実などの課題に対して、地域行政制度のバージョンアップを図ってまいります。

結びに、世田谷区町会総連合会の益々のご発展と、会員の皆様にとりまして健康で幸多き一年になりますことを心からお祈り申し上げまして、新春のご挨拶とさせていただきます。

地域情報

砧 地 域

喜多見地区区民まつりについて

喜多見東部町会 会長 石井 敏 活

たまがわ花火大会を除いて、喜多見地区（喜多見・宇奈根・鎌田）で最大のお祭りの喜多見地区区民まつりが、4年ぶりに喜多見小学校を会場として開催されました。

11月3日（金・祝）の秋晴れの中で3年間のブランクを吹き飛ばすかのように、喜多見地区の9町会・自治会や民生委員児童委員協議会、社会福祉協議会、日赤奉仕団、青少年地区委員会などが一堂に会して、ボランティアで従事しました。

私は喜多見地区区民まつり実行委員長として来賓対応を含め、会場すべてに目を配るとともに、一町会長として、喜多見東部町会の出店テントの手伝いもしました。設営と後片付けを含めて朝早くから夕方まで夢中で働きましたが、久しぶりに充実した一日を過ごすことができました。一緒に働いてくれた皆さんには大変感謝申し上げます。



近隣の小学生によるエイサー

喜多見地区は南北に細長く、特に鎌田は歴史的にも生活圏からも砧地区の大蔵や岡本、更には玉川や瀬田との結びつきが強い傾向があります。喜多見地区区民まつりは喜多見・宇奈根・鎌田が一体となって行う行事として非常に意義

のあるものと考えます。

喜多見地区区民まつりのルーツである砧第4地区区民まつりが開催されたのは、昭和55年（1980年）11月28日（日）でした。主催は、青少年地区委員会の前身である青少年対策地区委員会とのことです。



大人気の出店テント

それまでは、青少年対策地区委員会が水泳大会を主催していたところ、プールの工事により開催できなくなっていたため、地域住民による手作りのまつりを実施することになり、地域のふれあいや交流の場として始まったと記録にあります。

翌年の昭和56年（1981年）には、主催が、現在の喜多見地区区民まつり実行委員会にあたる砧第4地区区民まつり実行委員会になり、今回の開催で41回目となりました。

このような沿革を持つ喜多見地区区民まつりですが、これからも喜多見地区住民の一体性を確認する場として続くことを強く願う次第です。喜多見地区の皆さん、これからもよろしくお願ひします。

それから世田谷区民の皆さん、次回はずひ喜多見地区区民まつりに来ていただければと思います。楽しいひと時を過ごすことができるよう

に心掛けます。

(閑話休題)

ちなみに聞きなれない砧第4地区という言葉ですが、これは砧支所管内の4番目の地区という意味です。世田谷区では、平成の初め頃まで

は、今のまちづくりセンターの管轄区域を喜多見地区とか祖師谷地区というように地名で表記せず、番号で表記していました。

今でも喜多見まちづくりセンターと言わずに砧第4出張所と言う方がいます。

烏山地域

子供、高齢者、障害者にやさしい《粕谷会》

粕谷会 会長 安藤 正一

会長就任2年目になり、コロナも5類になりコロナ以前の様子を取り戻して、平常時の粕谷会の行事も行われるようになりました。

コロナ禍の4年間、粕谷会の行事がまるで出来なくなり、町会員の皆様には色々にご不便をおかけしてしまいました。

粕谷会としての重点政策は、これから起こるであろう災害について、町会員それぞれが、まず第一に自分達で身を守る〈自助〉、第二に近所と助け合う〈共助〉、第三に行政による〈公助〉を実行することです。

昨年今年と行われた避難所運営訓練において、避難所の状況を見ていただき、避難所の大変さを体験してもらいました。来年度は今年以上の参加者を希望しております。

粕谷会としては、在宅避難を第一に昨年度町会員に対して、パンフレットを4部配付しました。災害が起きても基本は在宅避難をしていた

だき、家屋の倒壊、火災の場合のみ、芦花中避難所への避難をお知らせしています。その為に、食料品、水、トイレ物品等を、7日分準備しておくように依頼しております。

今後は、火災が発生した場合に使用する消火器による訓練を、町会として実施する予定です。

次に今年度実施した行事は、

1. 夏休みにおけるラジオ体操
小学生対象 芦花恒春園内
2. スマホ教室 粕谷区民センター
3. 芦花ホーム消火器訓練
4. 蘆花まつり 芦花恒春園内
5. 避難所運営訓練 芦花中学校
6. オウム住民対策協議会抗議デモ・学習会
7. 交通安全運動 町内
8. ごみゼロデー 町内
9. 町会旅行会 迎賓館赤坂離宮、
東京スカイツリー

粕谷会として蘆花まつりは、粕谷会の地元である芦花恒春園で開催された為、防火防災部及び役員有志により、スーパーボールすくいを行いました。

子供達にとっても人気で、多くの子供達が集まり長い行列ができ、午前中に完売となり、行列を中止するのに大変苦労しましたと同時にとても驚きました。

来年度は数量を増やしたり、色々工夫して多くの子供達に楽しんでもらうようにしてい



蘆花まつりの様子

ます。

全体的には子供達だけではなく、高齢者の方々が多く参加されていたのが印象的でした。

これからも粕谷会は、地域の皆様の声を反映して、『子供、高齢者、障害者』にやさしい町会として、役員一同がんばりたいと思います。



大人気のスーパーボールすくい

町総連ニュース

表彰

▼令和5年10月2日

東京都功労者表彰

白須 勝敏 常任理事 (駒沢親和会 会長)

鎌田 嘉次 常任理事 (用賀町会 会長)

▼令和5年11月15日

社会福祉事業功労者に対する厚生労働大臣表彰

額賀 安平 常任理事 (大原西町会 会長)

※次号は5地域の情報を掲載します。

◎町総連情報誌編集委員会名簿

役職名	氏名	所属町会・自治会名
委員長	堀江 義之	若林町会
副委員長	網敷 光剛	弦巻町会
"	高橋 宗和	成城通りパークウエスト自治会
委員	小川 智弘	代沢中町会
"	山田 治	都営桜上水3丁目アパート自治会
"	福永 栄	玉川中町会
"	菅原 京子	上用賀町会
"	城田 隆博	喜多見中部町会
"	鈴木 清美	法人格砧町自治会
"	佐藤 健雄	パークアベニュー芦花公園自治会

編集後記

令和5年10月20日(金)に、新しいメンバーでの「町総連だより(58号)」の第1回編集委員会が開催されました。

10名中女性2名を含む7名が新任となり、冒頭に編集委員長からの委嘱状の交付がありました。今回の町総連だよりは、新年号となります。新しい編集委員の門出に相応しい任務です。

委員会の中で、他の町会・自治会の現状についての情報交換も活発に行われました。募金の集め方については、町会・自治会で一括して行なっているところや、募金の趣旨から各戸別に集めるべきとの意見を尊重しているところもあるなどの話が聞けました。

「地域情報」面については、従来の5地域分を2回に分けて掲載するよりも同一紙面で、全地域の情報を掲載した方が情報交換としての意義がある。少し紙面を広げてより多くの情報を提供して行きたい。

責任と希望を持つての第一歩です。

編集委員 成城通りパークウエスト自治会 高橋 宗和

世田谷区町会総連合会のホームページ

世田谷区町会

検索

※二次元コード



スマートフォン等で読み取って、簡単にホームページを見ることができます。